

性感染症発生動向結果活用ガイドライン

(素案)

平成 24 年 1 月 20 日

【構成】

1. はじめに（目的・対象者など）
2. サーベイランス担当になったら：チェックリスト
◆コラム：性感染症対策地域診断① 地域での発生状況について考えよう
3. 報告受理時にすること
◆コラム：性感染症対策地域診断② 地域の医療の状況を知ろう
4. 還元情報について
5. 疾患毎のデータの特殊性を知っていますか？
◆コラム：性感染症対策地域診断③ 予防啓発事業（HIV/AIDS 含む）再点検
6. 地域でもっとサーベイランス結果を活用するために
➤ 施策への活用例・・・先進的な取り組み：性感染症の全数調査を行っている自治体があります（三重県、松山市など）
◆コラム：性感染症対策地域診断④ 地域の社会資源を知ろう

○資料：相談先リスト、根拠法令等

1. はじめに

- ・目的：地方自治体が、性感染症の届出で集まってくる情報をどう解析し、還元していくか、についてのガイドラインとする。
- ・対象者：初めて「性感染症派生動向調査」業務に携わる者を対象とし、必要最小限の内容とする。職種、所属は問わない（地方感染症情報センター、保健所、本庁のいずれでも）
- ・発生動向調査の課題（*）は多いが、現行のシステムを最大限活用する方針で作成する。
（*）発生動向調査の課題（意味と限界）：定点報告は、その地域の性感染症患者の時間的推移を見るのが目的で、他地域との比較はできない。全数報告の場合は、常に「医師が全てをきちんと届出ているか」という問題があり、報告数が過小報告されている可能性がある。
- ・セクシャルヘルスに対する理解を大切にする：「性に関する健康」は、性の倫理や道德の問題ではなく権利である。性別、年齢や人種、国籍、職業、セクシュアリティ、個人の置かれている司法的立場を超えて、すべての人に提供されるべき健康サービスを受ける権利によって保証されるもの（出典：地域で HIV 陽性者を支援する人のためのガイドブック 平成 23 年 3 月 エイズ対策研究事業）

2. サーベイランス担当になったら

：チェックリスト（別紙）

.....

◆コラム：性感染症対策地域診断①「地域での発生状況について考えよう」

- ✓ 1 年間の報告件数は？ 男女比、年齢層、感染経路など
- ✓ HIV/AIDS の報告件数は？ 男女比、年齢層、感染経路など
- ✓ 上記それぞれの過去 3 年間のデータを確認し、地域での「平常時」の状態を知っておく

.....

3. 報告受理時にすること

この項目では保健所又は地方感染症情報センターの担当者が届け出報告を受けた時に、確認すべきことを載せている。医療機関からの届け出を集計し、国に報告するという事務的な仕事以外に、公衆衛生的に性感染症をコントロールするという観点から、パートナーへの対応は確認すべき大事な点である。

（1）確認すべきこと

- ・診断基準に合致しているか？

報告医療機関

- ・報告が集積していないか？

報告医療機関、周囲の自治体

(2) 性感染症のコントロールという視点から、医療機関への確認が望ましいこと

- ・パートナーへの対応
- ・患者本人の他の性感染症の合併の有無
- ・患者本人、パートナーのワクチン接種の有無：HBV
- ・病原体の追加解析が必要か？

(3) 報告が集積しているか、悩んだ時

- ・感染症アウトブレイクとは「ある特定の地域、期間に想定されるより多い感染症が発生すること」
- ・感染症アウトブレイクの判断は簡単ではない
 - ・管轄内外の状況をもう一度確認する。
 - ・主観的なもので可。まず疑うことが大事。
 - ・疑った段階で相談することが大事。
 - ・相談できる人・機関とその方法をあらかじめ確認しておく。

.....

◆コラム：性感染症地域診断②「医療の状況」

- ✓ 定点医療機関はどんな医療機関ですか？（診療科、医師数、届出件数、定点医療機関としての経験年数、など）
- ✓ 届出（全数）を行っている医療機関はどんな医療機関ですか？
- ✓ 地域で性感染症治療の中心となる医療機関がありますか？
- ✓ 地域外で治療されることが多いか？
- ✓ その他、消化器系疾患にも分類されているアメーバ赤痢、ウイルス肝炎がどこで治療されているか？

.....

4. 還元情報について

この項目ではグラフや表作成の基礎や工夫をはじめに見ていく。その後、それらまとめた後のデータの解釈について記載している。グラフや表は参考となるいくつかの例を載せている。最後に、解析し解釈したデータを関係各部署に還元する情報の作り方を見ていく。

(1) グラフや表作成の基礎

- ・まずは単純な集計に集中する。
- ・時は月ごとの集計

- ・場所は保健所毎の集計、管轄内の集計
- ・人は、まず性別、年齢で集計
- ・使用する指標
 - ・報告数
 - ・定点あたりの報告数
 - ・単位人口当たりの報告数

性感染症の報告は全数、定点ともに、その地域を代表している数字であるかどうか疑問があり、これは使用しにくい。

(2) グラフや表作成の工夫

人に関する要素は男女別、男女比、年齢階級別などの集計方法がある。いずれも報告数が少ないと解析が困難である。報告数が少ないときの工夫としては以下の方法がある。

(ア) 時に関して

期間を長くとりグラフや表を作成する。例えば2~3カ月毎など。

(イ) 場所に関して

地域を広くとりグラフや表を作成する。例えば複数の保健所を合わせるなど。

(ウ) 定点疾患の場合、定点医療機関の見直し

(3) データの解釈

(ア) 罹患率や有病率の推測は困難なことが多い。

- ・罹患率や有病率の推測には他の方法を用いる。同程度の規模の地域と報告数を比較するなど。
- ・定点あたりの患者数の解釈には、定点医療機関の診療状況を含めて解釈する必要がある。

(イ) トレンドの変化は把握できる。

- ・増減の判断は主観的なもので可。
- ・想定される対策のペースから、解釈のペースが決まる。
日や週の単位でなく、週や月の単位。
- ・全国データや周辺地域（大都市）との比較も有用。

(ウ) アラートレベル

- ・対象や目的によりアラートレベルは変わる。
誰に対して、何を注意してほしいのか。
- ・一般的には過去数年（3~5年）のデータから標準偏差(Standard Deviation : SD)を求め、平均+1SD、2SDなどの数字を用いる。
率でなくとも報告数でも可。
- ・過去のデータが乏しい場合、報告数が少ない場合には、数（3以上など）を任意に設定することも一つの方法。

グラフや表作成の例

1) 性別の表示

カナダと日本の国のデータの提示方法を比較してみる。

Public Helath Agency of Canada のホームページから、2008 年の淋菌の年齢群別、男女別の 10 万人当たりの患者数のグラフ、及び州別男女比の表

<http://www.phac-aspc.gc.ca/std-mts/report/sti-its2008/04-eng.php#Fig6>

Figure 6: Reported Rates of Gonorrhea by Sex and Age Group, 2008, Canada

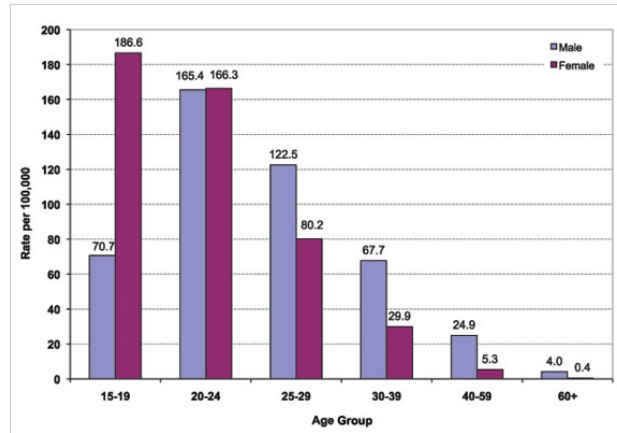
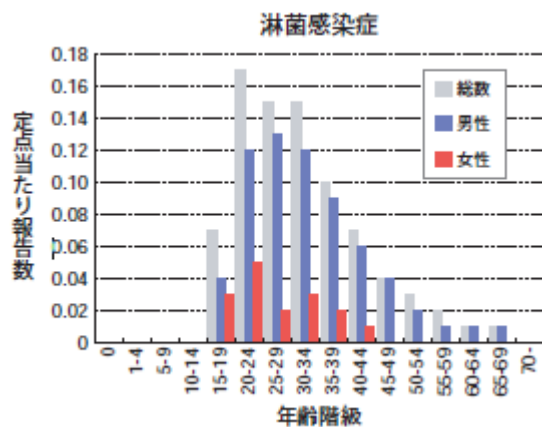


Table 3: Male-to-Female Ratio of Reported Rates of Gonorrhea by Province/Territory, 2008, Canada

Jurisdiction	Male-to-Female Rate Ratio
Canada	1.3 : 1.0
BC	1.8 : 1.0
AB	1.3 : 1.0
SK	0.7 : 1.0
MB	0.8 : 1.0
ON	1.4 : 1.0
QC	1.8 : 1.0
NB	1.1 : 1.0
NS	1.1 : 1.0
PE	0.3 : 1.0
NL	N/A
YT	0.7 : 1.0
NT	1.0 : 1.0
NU	1.0 : 1.0

感染症発生動向調査感染症週報 (IDRW) 2010 年第 49 週の淋菌感染症の年齢階級別、男女別の定点あたりの報告数のグラフ

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2010/idwr2010-49.pdf>



Public Helath Agency of Canada のグラフは 15 歳以上に焦点を絞っており、グラフ中で数字が分かる。また男女比を示す有用性は不明だが、分けて表にしている。年齢階級区分は、

均等ではない。IDWR では数字は分からないが、男女の割合と総数が一目でわかる。

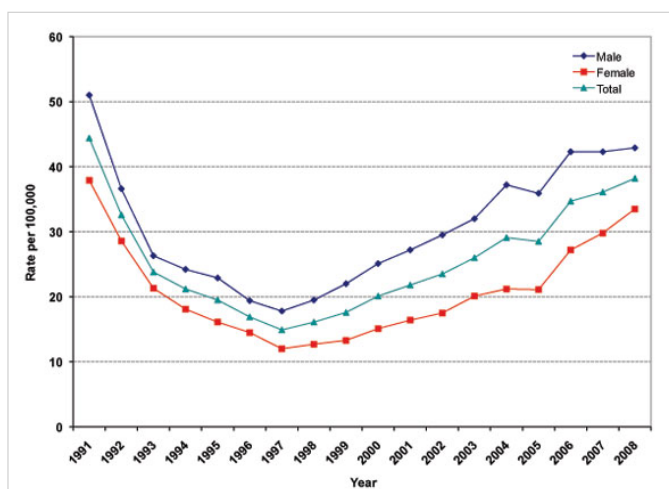
2) トレンドの表示

同じく、カナダと日本の国のデータの提示方法を比較してみる。

Public Helath Agency of Canada のホームページから、2008 年の淋菌の年齢群別、男女別の 10 万人当たりの患者数のグラフ、及び州別男女比の表

<http://www.phac-aspc.gc.ca/std-mts/report/sti-its2008/04-eng.php#Fig6>

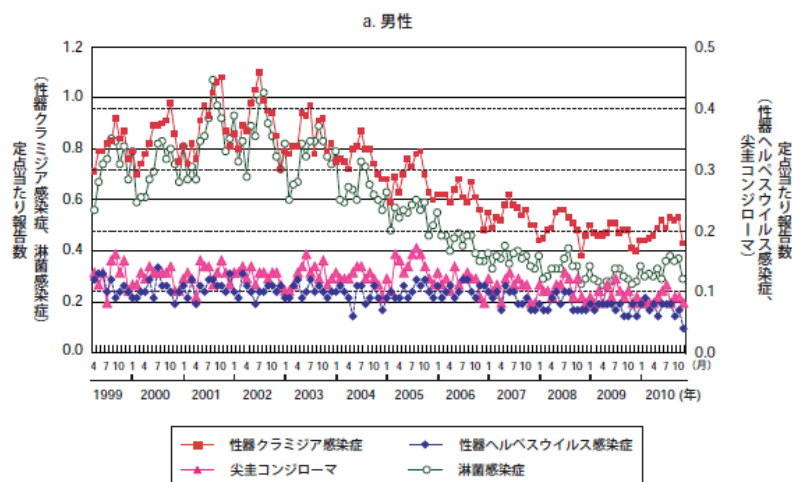
Figure 5: Reported Rates of Gonorrhea by Sex and Overall, 1991 to 2008, Canada



感染症発生動向調査感染症週報 (IDWR) 2010 年第 49 週の性感染症定点 4 疾患の若年男性での定点あたりの報告数の推移のグラフ

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2010/idwr2010-49.pdf>

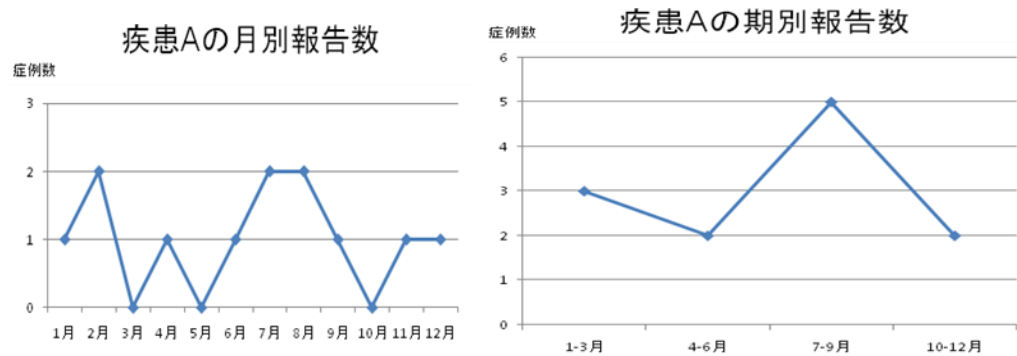
図4. 若年層における性感染症の年別・月別推移
(15～29歳、1999年4月～2010年11月)



Public Helath Agency of Canada のグラフは 1 年に一点のみのプロットであるのに対し、IDWR は 1 カ月毎のプロットである。年ごとの推移をみるのは前者が分かりやすく、年内推移とその変遷をみる為には後者が適している。

3) 時の表示の工夫

報告が少ないある疾患 A のグラフを月別と 3 カ月毎の期別にしてみる。



期別の表示の方が夏に多いということが良くわかる。

4) 場所の表示の工夫

性感染症は人の動きが複雑にからんでくるが、人の交流の多い都会の病気である。人の交流が多い地域のみを表示、報告の少ない地域はまとめた表示なども、目的に応じ試みる価値がある。米国 CDC のグラフを例として見てみる。

米国 CDC “2009 Sexually Transmitted Diseases Surveillance”、一部改変

<http://www.cdc.gov/std/stats09/toc.htm>

State/Area	Cases				
	2005	2006	2007	2008	2009
Alabama	4,892	4,678	4,786	4,151	3,250
Alaska	251	274	253	257	474
Arizona	2,610	3,097	2,718	1,869	1,775
Arkansas	2,223	2,122	1,890	1,993	1,898
California	18,348	17,856	16,632	14,025	13,705
Colorado	1,605	1,816	1,569	1,777	1,319
Connecticut	1,160	1,132	955	1,113	1,067
Delaware	398	656	594	439	407
District of Columbia	1,113	1,072	1,284	1,383	1,328
Florida	10,021	11,546	11,527	10,995	10,099
Georgia	7,885	9,510	8,401	7,465	6,368
Hawaii	405	409	364	312	367
Idaho	60	92	112	97	58
Illinois	9,020	9,260	9,501	9,331	8,710
Indiana	3,616	3,895	3,880	3,693	2,831
Iowa	771	787	807	676	609

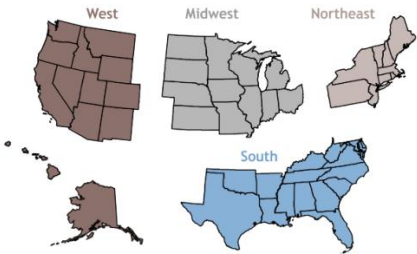
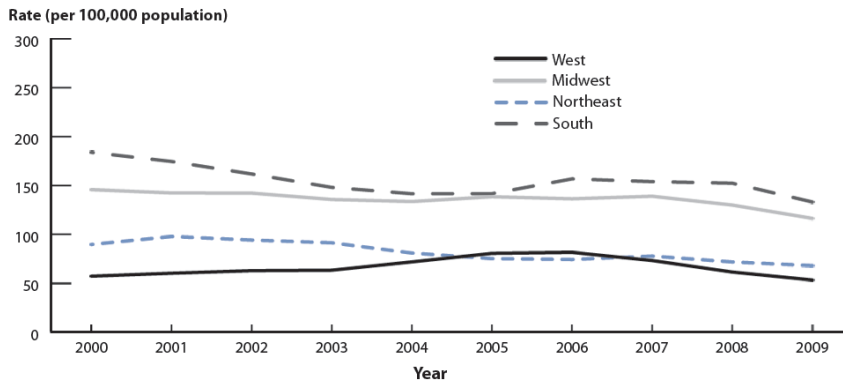


Figure 16. Gonorrhea—Rates by Region, United States, 2000-2009



左上は州ごとの 2005 年から 2009 年までの淋菌の報告数である。報告数の多い活動性の高い州もあれば、年間数 10 という報告しかない州もあるが、それらの州を 4 つの地域（右上のグラフ）に分けて、その地域毎のトレンド（下のグラフ）を示している。

（４）還元情報の作り方

感染症法による届け出で集められたサーベイランスデータは国への報告以外に、情報として協力者や一般の人に還元にしていくことが必要である。また、地方での施策の計画・実施・評価の参考となるような情報として、地方行政の場で使用していくことも求められている。それぞれの目的に応じて、データを理解しやすい形にして提示していくことが大事である。

（ア）要素

- ・ データ収集方法
 - 定点医療機関名、又はその数。
- ・ グラフや表
 - 全国や周辺地域のデータも参考にする。
- ・ トレンドの解釈
 - 増減の簡単な一文でも可。
- ・ 相談先
 - 管内の定点医療機関や性感染症の診療に熱心な医療機関など

（イ）提示の仕方

- ・ 定点や全数疾患という提示ではなく、1 つの性感染症の報告としてまとめる。
 - ・ 定点報告 4 疾患
 - ・ HIV 感染症、梅毒
 - ・ アメーバ赤痢、肝炎
- ・ 余力があれば、対象ごとに別の還元情報を作る。
 - ・ 医療機関

- ・一般市民
- ・保健所職員
- ・可能なら、医療機関の向けのものには淋菌の薬剤感受性を入れる
性感染症の診療をするにあたり、臨床で一番気になる情報である。定点医療機関や外注検査機関の協力などが得られれば、情報を集められる可能性がある。

(ウ) ネット上の情報提供

- ・サイトの構成
地方感染症情報センターや自治体保健部局のホームページから1~2クリックで入れるようにする。提示する資料は生データの転用でなく、専用に加工したデータであることが望ましい。
- ・診療機関や相談窓口の紹介
性感染症を行っている管内の医療機関
地方自治体の担当窓口
HIV 検査の窓口と検査スケジュールなど
- ・リンク
性感染症学会や国立感染症研究所の該当サイトにリンクを張る。

5. 疾患毎のデータの特殊性を知っていますか？

- ・梅毒は過小評価の可能性がある：全数報告だが、徹底されておらず、真の発生は10倍以上とも言われる。
- ・性器クラミジアは過小評価の可能性がある：男女とも感染者の相当数（70%）が無症状
- ・女性の淋菌感染症：相当数(80%)が無症状
- ・性器ヘルペスは過大評価の可能性がある
- ・肝炎、アメーバ赤痢も性感染症である。

.....

◆コラム：性感染症対策地域診断③ 予防啓発事業（HIV/AIDS 対策含む）
再点検

- ✓ エイズ予防教育、性感染症予防教育の実施状況は？
- ✓ エイズ予防啓発活動の実施状況は？

.....

6. 地域でもっとサーベイランス結果を利用するために

【資料①】

集団発生への対応の紹介

「性感染症の集団発生の管理のガイダンス」

英国健康保護局(Health Protection Agency)

GUIDANCE FOR MANAGING STI OUTBREAKS & INCIDENTS, Nov 2010

http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1214553002033

【資料②】

施策への活用例:啓発ポスターに STI 発生動向のグラフを掲載した(松山市)

C 型肝炎集団感染(東京都)

【展開例① 届出をした医師との連携を強める】

届出基準の確認などのために主治医に電話で確認すると・・・連携を強めるきっかけになります。

○届出(診断)をする、ということは、性感染症の検査・治療を積極的に行っていると考えられます。したがって、これらの医療機関は、性感染症対策にとって重要な社会資源といえます。

(例) HIV の発生状況、STI の発生状況、その他トピックス(IDWR 性感染症関連号など)の提供

(例) HIV 検査案内の送付(各保健所や自治体作成分、その他 HIV 検査 MAP の紹介など)

(例) 啓発資料の送付(STI 予防啓発資料、HIV 対策のポスター・パンフレット、等)

(例) 患者の発生状況などで「いつもと違う」場合に、保健所に連絡をいただける関係の構築

【展開例② STI 対策は組み合わせて展開する】

○組み合わせの例

(例) HIV 対策:検査・相談事業、予防啓発事業、エイズ予防教育

(例) 母子保健対策:母子手帳交付、妊婦健診助成、両親学級、乳幼児検診、予防接種事業、マタニティクッキング 等

(例) 少子化対策

(例) B 型・C 型肝炎検査・相談、予防啓発事業、肝がん対策

(例) 女性特有のがん検診事業

.....

◆コラム:性感染症対策地域診断④ 社会資源の状況

✓ 医師会の性感染症対策は?(産婦人科医が出前授業を行っている等)

✓ 助産師会・看護協会などの対策の状況は?(妊娠から出産、生命の誕生について出前授業を行っている等)

✓ 養護教諭の活動は？（上記医師会や助産師会等に外部講師を依頼する他、養護教諭としての研究事業等を行っている場合がある）

.....

○資料：相談先リスト、根拠法令等